専　門　教　養
令和 5 年 7 月
60分

受　験　教　科　等
養　護　教　諭

注　意

1　指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。

2　全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。

3　机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。

4　他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器の使用及び不正行為をしてはいけません。

5　解答時間は60分です。途中退出はできません。

6　問題冊子のページ数は、12ページです。はじめにページ数を確かめてください。

7　解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の**【1】の欄には、受験番号を記入**し、**受験番号に対応する数字をマーク**してください。**【2】の欄には、氏名を記入**してください。ただし、**【3】の選択問題を表す欄のマークは不要**です。

8　問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。

9　問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。

10　問題の内容についての質問には一切応じません。

解答上の注意

1　解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。

2　「解答番号は 1 。」と表示のある問に対して、**3**と解答する場合には、次の（例1）のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

（例1）

解答番号	解答欄
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。

3　問題文中の [2] 、 [3][4] などの [　] には、数字又は符号（−）が入ります。次の⑴～⑷の方法でマークしてください。

⑴　[2] 、 [3] 、 [4] 、……の一つ一つは、それぞれ１～９、０の数字又は符号（−）のいずれか一つに対応します。それらを [2] 、 [3] 、 [4] 、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、[2][3][4] に −84 と解答する場合には、次の（例２）のようにマークします。

（例２）

解答番号	解答欄
2	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ●
3	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⓪ ⊖
4	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ⊖

なお、同一の問題文中に [2] 、 [3][4] などが２度以上現れる場合、原則として、２度目以降は、[2] 、 [3][4] のように細字で表記します。

⑵　分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、$\dfrac{[5][6]}{[7]}$ に $-\dfrac{4}{5}$ と解答する場合には、$\dfrac{-4}{5}$ として、次の（例３）のようにマークします。

（例３）

解答番号	解答欄
5	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ●
6	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ⊖
7	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ⊖

⑶　小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⓪にマークしてください。

例えば、[8].[9][10] に 2.6 と解答する場合には、 2.60 として答えてください。

⑷　根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。

1 学習指導要領及び法令に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 小学校学習指導要領体育の「各学年の目標及び内容」の〔第３学年及び第４学年〕の「内容」の「G　保健」において、身に付けることができるよう指導するとされている事項に関する記述として適切なものは、次の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は **1** 。

1　病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。

2　生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。

3　喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。

4　毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であること。

〔問 2〕　次の記述は、学校保健安全法施行規則第９条第１項である。記述中の空欄 **ア** に当てはまるものとして適切なものは、下の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は **2** 。

> 学校においては、法第13条第１項の健康診断を行つたときは、 **ア** にその結果を幼児、児童又は生徒にあつては当該幼児、児童又は生徒及びその保護者（学校教育法（昭和22年法律第26号）第16条に規定する保護者をいう。）に、学生にあつては当該学生に通知するとともに、次の各号に定める基準により、法第14条の措置をとらなければならない。
>
> 1　疾病の予防処置を行うこと。
>
> 2　必要な医療を受けるよう指示すること。
>
> 3　必要な検査、予防接種等を受けるよう指示すること。
>
> 4　療養のため必要な期間学校において学習しないよう指導すること。
>
> 5　特別支援学級への編入について指導及び助言を行うこと。
>
> 6　学習又は運動・作業の軽減、停止、変更等を行うこと。
>
> 7　修学旅行、対外運動競技等への参加を制限すること。
>
> 8　机又は腰掛の調整、座席の変更及び学級の編制の適正を図ること。
>
> 9　その他発育、健康状態等に応じて適当な保健指導を行うこと。

1　５日以内
2　21日以内
3　６月30日まで
4　７月１日まで

2 救急処置に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 胸骨圧迫に関する記述として、「ＪＲＣ蘇生ガイドライン2020」（一般社団法人日本蘇生協議会　2021年６月）に照らして適切なものは、次の **1** ～ **4** のうちどれか。解答番号は **3** 。

1 救助者が複数いる場合には、５分を目安に役割を交代する。
2 圧迫のテンポは、１分間当たり60～90回である。
3 傷病者が成人の場合の圧迫の深さは、胸が約８cm沈む程度とする。
4 圧迫の部位は、胸骨の下半分とする。

〔問 2〕 ＲＩＣＥ処置について、「R」、「I」、「C」、「E」の表す意味の組合せとして適切なものは、次の **1** ～ **4** のうちどれか。解答番号は **4** 。

	R	I	C	E
1	安静	冷却	圧迫	拳上
2	急速	集中	呼ぶ	拳上
3	急速	冷却	呼ぶ	早く
4	安静	集中	圧迫	早く

3 保健管理に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 次の表は、聴力検査の結果をまとめたものである。この結果から、平均聴力を４分法で求めた値として、「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成27年度改訂」（公益財団法人日本学校保健会　平成27年８月）に照らして適切なものは、下の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は **5** 。

表

	500 Hz	1000 Hz	2000 Hz	4000 Hz
右	35 dB	40 dB	50 dB	60 dB
左	25 dB	40 dB	50 dB	60 dB

	右	左
1	40 dB（60 dB）	35 dB（60 dB）
2	41.25 dB（60 dB）	38.75 dB（60 dB）
3	46.25 dB（60 dB）	43.75 dB（60 dB）
4	155 dB（60 dB）	145 dB（60 dB）

〔問 2〕 次の記述は、色覚の検査に関するものである。記述中の下線部①～④のうち、色覚の検査の実施方法として、「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成27年度改訂」（公益財団法人日本学校保健会　平成27年８月）に照らして**適切でないもの**は、下の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は **6** 。

> 養護教諭Ａは、検査者や被検査者の姿や声がほかの児童生徒に見えたり聞こえたりせず、①着色した壁やカーテンは使用していない場所を検査室に選んだ。また、②照明は十分な明るさがある自然光の下で行うことにした。
>
> 検査時には、③検査表を机上に置いて、光源の光が照り返さないように注意した。また、日頃から眼鏡を使用していた生徒Ｂには、④眼鏡を装着させずに検査を行った。検査中は、答えた内容について、訂正をしたり念を押したりはせず、検査者の態度で答えの正否が被検査者に知られないように配慮して実施した。

1 下線部①
2 下線部②
3 下線部③
4 下線部④

〔問 3〕　1 型糖尿病に関する記述として適切なものは、次の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は **7** 。

1　遺伝的な影響でインスリンが十分に作られなかったり、食べ過ぎや運動不足などの生活習慣の影響で、インスリンの効果が効きにくい状態になったりすることが原因で起きる。

2　インスリンを作る膵臓のβ細胞が壊れ、インスリンが分泌されないことが原因で起きる。

3　遺伝子異常、膵外分泌疾患、内分泌疾患、肝疾患、薬剤や化学物質などが原因で起こる。

4　血糖を下げるインスリンが、妊娠中に効きにくくなるため、血糖が高くなる糖代謝異常が原因で起こる。

〔問 4〕　熱中症に関する記述として、「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」（環境省・文部科学省　令和３年５月）に照らして適切なものは、次の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は **8** 。

1　学校での熱中症による死亡事故は、近年は増加傾向にあり、ほとんどが体育・スポーツ活動によるものである。

2　日常生活における熱中症の予防は、体温の上昇と脱水を抑えることが基本である。そのため、暑い環境下に長時間いることを避けることが大切である。

3　熱中症警戒アラートは、人体と外気との熱のやりとりに着目し、熱収支に与える影響の大きい気温、湿度、日射・輻射など周辺の熱環境、風の要素を取り入れた指標である。

4　暑さ指数は、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される際に、環境省・気象庁で新たに暑さへの気づきを呼びかけ、国民の熱中症予防行動を効果的に促すための情報提供のことである。

〔問 5〕 ＩＣＴ機器を利用する際の健康面への配慮に関する記述として適切なものは、次の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は **9** 。

1 端末を使用する際に良い姿勢を保ち、机と椅子の高さを正しく合わせて、目と端末の画面との距離を30 cm以上離す。

2 長時間にわたって継続して画面を見ないよう、50分に１回は、20秒以上、画面から目を離して、近くのものを見るなどして目を休める。

3 夜に自宅で使用する際には、昼間に学校の教室で使用する際よりも、明るさ（輝度）を上げることが推奨される。

4 睡眠前に強い光を浴びると、入眠作用があるホルモンの分泌が促進されるため、就寝１時間前からのＩＣＴ機器の利用が適切である。

〔問 6〕 健康と環境に関する記述として適切なものは、次の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は **10** 。

1 明るさには、物が見えやすく、目が疲労しにくい至適範囲があり、その範囲は、学習や作業の内容によって異なる。教室の照度は、100ルクス～200ルクスが望ましいとされている。

2 温熱条件には、体温を無理なく一定に保つことができ、生活や活動がしやすい至適範囲がある。温度について、15℃以上、28℃以下であることが望ましいとされている。

3 体内の水分は、生命を維持するために重要な働きをしている。学校の水道水を水源とする飲料水（専用水道を除く。）の水質については、大腸菌やpH値、臭気、色度などの検査項目がある。

4 一酸化炭素は、体内に入ると、酸素と白血球の結合を妨げる性質があり、体の組織や細胞が酸素不足となり一酸化炭素中毒を起こし、頭痛やめまいが起こり、意識がなくなり死に至ることもある。一酸化炭素濃度は、15ppm以下であることとされている。

4 次の各問に答えよ。

〔問 1〕 次の記述は、「花粉症環境保健マニュアル2022」（環境省　2022年３月改訂版）に示された、花粉症に関するものである。記述中の空欄 **ア** ・ **イ** に当てはまる語句の組合せとして適切なものは、下の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は **11** 。

> 花粉症のメカニズムは、人の鼻では侵入してきた物質を自分以外の物質と判断すると、これを無害化しようとする反応がおこる。その結果、くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどの症状が出てくる病気を **ア** という。花粉症は、体内に入った花粉に対して人間の身体が起こす **イ** である。

1　**ア**　アレルギー性鼻炎　　**イ**　ショック症状
2　**ア**　アトピー性皮膚炎　　**イ**　抗原抗体反応
3　**ア**　アトピー性皮膚炎　　**イ**　ショック症状
4　**ア**　アレルギー性鼻炎　　**イ**　抗原抗体反応

〔問 2〕 危機状況におけるトラウマに関する記述として、「学校における子供の心のケアーサインを見逃さないために－」（文部科学省　平成26年３月）に照らして適切なものは、次の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は **12** 。

1　トラウマとは、本来持っている個人の力では対処できないような圧倒的な体験をすることによって被る、軽度の身体的症状のことである。
2　トラウマを体験した子供には、情緒・行動・身体・認知面に様々な反応があらわれ、学齢期の子供では、学習面への影響も無視できなくなる。
3　トラウマ反応は、衝撃的な出来事を体験したときに生じる反応であり、ほとんどの場合、自然に回復することはない。
4　トラウマによる反応が著しい場合や、そのために長期にわたり生活に支障が出る場合があり、心的外傷後ストレス障害のみならず不安障害や気分障害、行動上の問題など様々な精神健康不調につながることが報告されている。このような場合は、学校内や保護者のみで解決することが推奨される。

〔問 3〕 月経に関する記述として適切なものは、次の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は **13** 。

1 月経前緊張症は、月経前の卵胞期にホルモンバランスに伴って、日常生活に差し障る下腹部痛やイライラなどの精神症状が現れる。

2 月経困難症は、月経の期間に、下腹部の痛み、腰痛や気分不快感などの症状が強く、安静や治療を必要とする。

3 原発性無月経は、普通にあった月経が２～３か月以上無く、ダイエットや過度なスポーツ、ストレスなどが原因で起きる。

4 続発性無月経は、18歳を過ぎても初経を迎えない無月経のことであり、原因として、子宮や卵巣または膣の発育不全や視床下部などの障害があげられる。

〔問 4〕 内側側副靭帯損傷に関する記述として適切なものは、次の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は **14** 。

1 自己免疫疾患で、関節に腫れや疼痛がみられる。

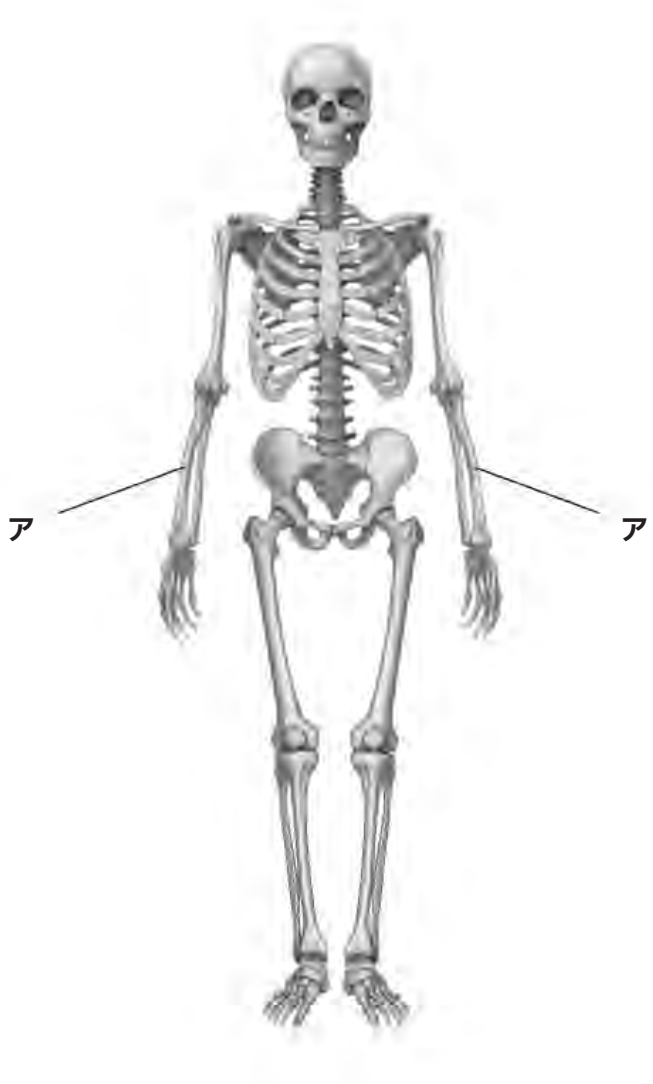
2 骨の成長期の10～15歳頃の、膝の屈曲、伸展を繰り返すスポーツを行っている男子に多く発症し、ボールを蹴るときなどの大腿四頭筋が強く収縮する際に強い痛みを生じる。

3 膝に大きな外反力が加わることで生じ、膝の靭帯損傷の中では最も頻度が高く、膝内側の疼痛がある。

4 関節軟骨に変性や摩耗がおこり、加齢によって生じる膝などの関節疾患である。

〔問 5〕　次の図は、人体の全身の骨格を表したものである。図中の**ア**の名称として適切なものは、下の **1** ～ **4** のうちのどれか、解答番号は **15** 。

図



1　橈骨
2　尺骨
3　腓骨
4　脛骨

〔問 6〕 梅毒に関する記述として適切なものは、次の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は **16** 。

1 男性器、女性器に痛みを伴う水疱ができ、潰瘍になるものもある。一度かかると治療しても繰り返し再発することがある。女性の場合、妊娠・出産時の胎児に重篤な合併症を引き起こすことがある。

2 男性では排尿痛、尿道不快感、尿道からの分泌物、女性ではおりものの変化や下腹部の痛みといった症状をきたすことがあるが、感染しても無症状な場合も多い。男性、女性の双方で不妊の原因になることがある。

3 性経験のある女性の半数以上が一度は感染するとされている。症状はほとんどない。様々なタイプがあり、一部のウイルスは、性器にいぼができる尖圭コンジローマの原因となったり、子宮頸がんや膣がんなどの原因になったりする。

4 痛みのない潰瘍が性器に形成され、治療せずにいると全身の皮疹・リンパ節の腫脹、さらには数年～数十年後には血管や神経の障害等、全身に多様な症状をきたすことがある。妊婦の感染は早産や死産、胎児の重篤な異常につながる可能性がある。

5 次の各問に答えよ。

〔問 1〕 性同一性障害に係る児童生徒への支援に関する記述として、「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について（教職員向け）」（文部科学省　平成28年４月）に照らして**適切でないもの**は、次の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は **17** 。

1 性同一性障害に係る児童生徒の支援は、最初に相談を受けた者だけで抱え込むことなく、組織的に取り組むことが重要である。

2 教職員等の間における情報共有に当たっては、児童生徒が自身の性同一性を可能な限り秘匿しておきたい場合があること等に留意しつつ、一方で、学校として効果的な対応を進めるためには、教職員等の間で情報共有しチームで対応することが欠かせない。

3 医療機関との連携に当たっては、当事者である児童生徒や保護者の意向を踏まえることが原則であるが、当事者である児童生徒や保護者の同意が得られない場合、具体的な個人情報に関連しない範囲で一般的な助言を受けることは考えられる。

4 医療機関を受診して性同一性障害の診断がなされない場合は、児童生徒の支援を行うことはできない。

〔問 2〕 障害の種類のうち、ＬＤとＡＤＨＤが表す発達障害の名称の組合せとして適切なものは、次の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は **18** 。

	ＬＤ	ＡＤＨＤ
1	学習障害	高機能自閉症
2	学習障害	注意欠陥多動性障害
3	広汎性発達障害	高機能自閉症
4	広汎性発達障害	注意欠陥多動性障害

〔問 3〕 知的障害に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課　令和３年６月）に照らして、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は 19 。

ア　知的障害とは、日常生活や社会生活などについての適応能力は十分であるが、知的機能の発達に遅れが認められ、特別な支援や配慮が必要な状態である。

イ　知的障害は、精神的、神経発達的、医学的及び身体疾患の併発がしばしばみられ、運動障害を併存していることも少なくない。

ウ　知能発達検査としては、日本版Vineland Ⅱ適応行動尺度がある。

エ　適応行動の問題は、その適応行動が要求されない状況になると顕在化しなくなるということもある。

1　**ア・イ**
2　**ア・ウ**
3　**イ・エ**
4　**ウ・エ**

〔問 4〕 薬物乱用防止に関する記述として、「『第五次薬物乱用防止五か年戦略』フォローアップ」（薬物乱用対策推進会議　令和４年６月）に照らして適切なものは、次の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は 20 。

1　令和３年の薬物情勢として、覚醒剤事犯の検挙人員は６年連続で増加しており、再犯者率も増加し続けている。

2　取締りのより一層の強化や若年層に焦点を当てた効果的な広報･啓発活動を推進するとともに、「大麻等の薬物対策のあり方検討会」において示された基本的な方向性を踏まえ、関連法令の制度改正に向けた議論を行っている。

3　令和３年度から「依存症対策総合支援事業」を新規に実施し、依存症専門医療機関及び依存症治療拠点機関の選定を推進している。

4　関係機関間における緊密な連携を強化したことで、薬物密輸入事犯の検挙件数、検挙人員ともに近年大幅に減少している。

問題番号 大問	問題番号 小問		解答番号	正答	配点	備考
1	問1		1	4	5	
	問2		2	2	5	
2	問1		3	4	5	
	問2		4	1	5	
3	問1		5	2	5	
	問2		6	4	5	
	問3		7	2	5	
	問4		8	2	5	
	問5		9	1	5	
	問6		10	3	5	
4	問1		11	4	5	
	問2		12	2	5	
	問3		13	2	5	
	問4		14	3	5	
	問5		15	1	5	
	問6		16	4	5	
5	問1		17	4	5	
	問2		18	2	5	
	問3		19	3	5	
	問4		20	2	5	